



' To acknowledge the duty that accompanies every right '  
 Affiliated with the International Association of Y's Men's Clubs

# THE OSAKA CENTENNIAL

C/O OSAKA YMCA  
 1-5-6 TOSABORI, NISHIKU,  
 OSAKA, JAPAN

2008年4月 No.311.  
 Chartered July 20, 1982

主 題 Y's THEME (2007~2008)	
センテニアルクラブ会長	『明日は明日の風が吹く』
国際会長	『国境なき奉仕』
アジア会長	『国境なき奉仕』
西日本区理事	『確信を持って前進しよう!』
中西部部長	『Y's運動の源流を求めて!』

クラブ役員	Officers
会長	: 三浦 直之
副会長	: 坂本 哲朗
書記	: 石津 雅人
会計	: 藤原 正巳
ネット会長	: 中村 幸枝
Y連絡職員	: 鍛冶田 千文

## Biblical Message of April

### 「復活する」

主が墓から取り去られました。どこに置かれているのか、私たちには分かりません。

(ヨハネ 20 章 2 節)

## April Club Meeting

### 『YMCA サービス/ASF』

#### 4 月 第 1 例 会

日時：2008年4月16日(水) 18:30~20:30

場所：ホテルグランヴィア大阪

「桜」の間(20階)又は「蘭」の間(21階)

(1階、エレベーターホールの表示で確認すること)

司会：大村 肇君

- |                  |                      |
|------------------|----------------------|
| 1. 開会点鐘          | 三浦 直之 会長             |
| 2. ワイズソング        | 一 同                  |
| 3. ゲスト紹介         | 三浦 直之 会長             |
| 4. 聖句朗読          | 松浦 孝次 君              |
| 5. 今月の強調活動       | 松浦 孝次 君              |
| 6. 晩 餐           | 一 同                  |
| 7. 卓話「車椅子らくらく登山」 | 丸尾 欽造 君<br>(大阪河内クラブ) |
| 8. インフォメーション     | 各担当                  |
| 9. お誕生祝い・ニコニコ献金  |                      |
| 10. 閉会点鐘         | 三浦 直之 会長             |

#### 4 月 第 2 例 会

日時：2008年4月23日(水) 18:30~20:30

場所：大阪YMCA土佐堀会館4階

4月お誕生日：隅田メネット(13日)

例会担当：1班：大村、新保、田中、畠中、山田君

### 「ドッジボールはやめて、キャッチボールをしよう」

畠中 彬

これは、スポーツの話ではなく、私たちの最近のコミュニケーションのとり方の話です。

ある小学校の昼休みに、一人の生徒が職員室にやってきて先生に言いました。「先生、はし、はし・・・」。先生は何のことかわからず、登校途中の橋のことかと思い「橋がどうかしたの?」と聞くと、「はしナイ、はしナイ」。「えっ、橋がなくなったの?」と聞くと、「先生、はし、一本・・・」。どうやら、この子は弁当の箸を忘れて職員室へ箸を借りにきたらしい。このように、自分のことだけを自分なりの言葉で一方的にしか話さない生徒が最近増えているらしいが、これは小学生だけのことだろうか? 私たち大人にもこのように相手のことを考えず、自分の言いたいことだけを言う「ONE WAY」コミュニケーションが多い。言葉は相手にわかるように丁寧に話し、そして相手の話にも耳を傾ける「TWO WAY」でないといけない。言葉というボールは常にキャッチボールのように相手と自分の間を行き来するもので、一方的に相手を殺すために投げてはいけない。

## 【クラブ統計 Statistics】

2008年3月	種 別	第1例会	第2例会	BF ポイント	ニコニコ献金
在籍会員 17名	メ ン	13名	6名	3月: 335g	3月: 23,500円
例会出席 14名	メネット	6名	0名	現金 0円	
うちメーカー	ビジター	0名	0名	(07年7月~08年3月の	
1名	ゲ ス ト	0名	0名	累計)切手 1,195g	(07年7月~08年3月の累計)
出席率 82.3%	合 計	19名	6名	現金 5,500円	147,914円

## 「主イエスの復活」

イエスの誕生、伝道、受難、十字架は理解できても、イエスの甦りは理解の外だという人は少なくない。が、よく考えてみると、「私たちが眼で見える」ことだけが世の存在全てとは、決していえないし、また「見えるのに、見ようとしない、あるいは見ていない」ことも間々ある。イエスのご遺体が墓にないことを発見した弟子や婦人たちは、「そんなことは起こるはずはない」と恐れおののき、ご自身を現されたときも、弟子たちは信じなかった。が、イエスは、そうした弟子たちのもとに現れ、弟子たちを元気づけられた。イエスの復活によって、死に打ち勝った永遠の命が、私たちをいつも、どこでも見守って下さるということであろう。死から生へ、闇から光へ、私たちにとって、大いなる希望を与えられていることをかみしめたい。

聖句選 コメント：松浦 孝次

## 3 月 第 1 例 会 報 告

と き：08年3月19日(水) 18:30～20:30  
と ころ：リーガグランドホテル 3 階 葵の間

この日の例会は、リーガグランドホテルが新朝日ビルの立て替えに伴い、営業を終了するため、ここでの最後の記念すべき例会となりました。

まず、谷川メンからハワイ・ヌアヌクラブのヒラナカ夫妻が4月来日するなか、11日、藤原メンがアレンジしていただき、京都で有志による歓迎パーティーを開催する旨の話がありました。

次に石津メンによるメインスピーチ「近未来のIT社会～コンピュータと電話の結婚で生まれてくる子どもたち」と題し、わが国の電子・情報産業が最近、デジタル情報家電を中心にどれだけ急速な拡大を遂げてきたのかの話がありました。ユビキタス社会の将来像は、ネットワークと電子技術の共有で、われわれの生活が豊かになる一方、個人情報の流出など、7割の人たちがネット社会に対して不安を感じている一面も浮き彫りになりました。また、「漢字が書けない」など人間本来の能力も失われつつなどの指摘は私たちがこれから考えねばならない大事な視点だったように思います。

(中村茂高)

## 3 月 BF ニュース

### 切手提供者

山田、福永、隅田、中村、谷川、田中、三浦君  
計 335g

今月の殊勲賞：山田君 100g

## 3 月 第 2 例 会 報 告

日時 2008年3月26日(水) 18:30～20:00  
場所 土佐堀YMCA  
出席者：石津、大村、鍛冶田、中村、藤原、山田君

### 協議事項及び連絡事項

- (1) 5月第1例会 = 5月21日(水) のゲストスピーカーは、松下マルタさん(アルゼンチン出身、同志社大学) 谷川メンの紹介。テーマは「アルゼンチン～多文化の国。人と社会」
- (2) 日帰りハイキングの件、5/10(土)を予定していましたが、中西部メネット行事のため延期します。
- (3) 阿南海洋センター40周年募金の件、中西部で100万円を6月末までに集めることになっているが、一口5千円の特別会計で対応する。4/19の評議会で決める予定。
- (4) ヒラナカ夫妻の歓迎会 4/11(金) 18:00～  
京都：がんこ二条苑(京都市中京区木屋町通二条下ル) .075-223-3456 会費：6千円  
現在11人。

### 今後の行事

- ・ 西日本区大会  
6月14日(土)、6月15日(日)  
奈良100年会館ほか
- ・ 第4回中西部評議会  
4/19(土) 14:30～17:00 大阪YMCA9階
- ・ 芦屋クラブ10周年  
4/19(土) 11:00～ 関西学院会館
- ・ 広島・西宮・近江八幡クラブ60周年  
5/17(土) 11:45～ 琵琶湖ホテルほか  
(中村茂高)



リーガグランドホテルでの最後の例会で  
聖句朗読をされる田中穰二メン

今年もニューヨークの友人がアイランドでの聖パトリック祭(St. Patrick's Day)のことで手紙をくれた。聖パトリックは昔、同国にキリスト教を広めた聖人の命日。ニューヨークでも、このアイランド系の人々がたくさん住み、春の訪れと共に5番街で聖パトリック・デイの一大パレードがある。全員がああ目の覚める

ようなアイリッシュ・グリーン色の服装でパレードをする。(ゴルフのオーガスタでのマスターズ優勝者が着るあのグリーンのジャケットと同じ色)胸にはアイランドの紋章シャムロック(クローバーの葉に似ている)をつけて歩く。

アイランドと言う国、英国のすぐ隣に位置し、昔は英国の植民地であった。1980年頃まで欧州の最も貧しい国ひとつ。19世紀半ばのジャガイモ飢饉では大量の移民を送り出した。アメリカのケネディ大統領もその子孫。しかし、最近では経済改革に成功し、一人当たりの国内総生産(GDP)はなんと世界で4位(5万1421ドル)となった。

翻って、高度経済成長を謳歌した日本は、今や18位(3万4252ドル)に落ちてしまった。アイランドの成功は積極的な外国資本の導入と大量の外国人労働者の受け入れたことによる。一方、少子高齢化の日本。もっと外国人労働者の受け入れに門戸を開き、外国資本の受け入れに柔軟に対処し改革を進めないと、さらに地盤沈下が心配される。ニューヨークからの知人の手紙を読んで、ふとそんな不安が胸をよぎった。

(谷川 寛)



**マウイ島サトウキビ列車**

移民の夢と希望と汗を乗せて

Sugar cane train carrying dream, hope and perspiration of the immigrants!

By M.FUJIWARA

**早天祈祷会**

日時 4月18日(金)7:30~8:30 \*毎月第三金曜日  
証し 山崎英穂牧師(日本キリスト教団塚口教会)

**サポートクラスボランティア養成講座**

LD(学習障害)およびその周辺(高機能広汎性発達障害など)の子どもたちのクラス(学習・仲間作り・スポーツ・野外)の支援をしてくださるボランティアの養成講座です。

日時 4月19日(土)10:00~16:30

「LD およびその周辺の子どもの基本理解」

竹田契一氏(大阪教育大学名誉教授)

「サポートクラスでの援助の仕方」

飯田眞子・加藤義弘(サポートクラス講師)

「ボランティアとは」

鍛治田千文(サポートクラスディレクター)

問い合わせ先 サポートクラス 06(6441)5070

\*会場はすべて大阪YMCA会館です。

(鍛治田 千文)

**Club Activities for March, 2008**

“Parting is such sweet sorrow” .... This phrase expressed our sorrow at the thought of not being able to continue our monthly meetings at the Rihga Grand Hotel any more, since the hotel building will soon be torn down.

A total of 19 Y's men and women including Y's Menettes gathered for our last meeting here on March 19<sup>th</sup>, 2008. We will all miss this place, but will have many wonderful memories.

Our speaker this month was Masato Ishizu, our secretary who spoke about very timely subject, “The IT Related Society – How the State of Art Technology Will Change Our Future Communities.”

We were happy to welcome back Mr. Tamotsu Sumida after a long absence.

He also expressed his regret that this hotel will soon disappear, because he once worked at the premises after he joined the hotel.

President Miura closed the meeting with his comment that in April we will be gathering at Hotel Granvia Osaka for our monthly meetings and encouraged everyone to join the April meeting.

**大阪センテニアルクラブホームページ**

<http://m-ishizu.sakura.ne.jp/ys/>

ニコニコ・メッセージ  
【 Messages from the Club Members 】

会員からのメッセージ

来月から新しい例会場です。これからも楽しい例会をしていきたいですネ！  
(石津 雅人)

私にとってグランドホテルの例会は短かったですが、次の新しい会場で新たな気持ちでのぞみたいと思います。  
(大村 肇)

表コミが無事、卒業生がだせたこと、感謝いっぱいです。  
(鍛冶田 千文)

今日でリーがグランドHotelが最後という事でなんだかさびしい気持ちがします。毎月、このホテルに通う事が習慣のようになっていたので……。堂島は私の好きな場所です。  
(坂本 千春)

リーがグランドホテルの最後の例会、これまでお世話してくださった皆さんに感謝です。  
(坂本 哲朗)

大阪グランドホテル(旧名)の最後を記念して、新しい会場を楽しみにします。  
(隅田 保)

あっという間に暖かくなりグランドホテルでの例会が最後になりました。毎月、楽しい例会とおいしいお食事を提供下さりありがとうございました。来月からの新しい会場も楽しみです。  
(隅田 恵子)

リーがグランドホテルでの最後の例会に出席できてよかったと思います。  
(田中 穰二)

いよいよ大阪グランドホテルでの例会は最後となりました。記念すべき例会になりました。石津さんのITの話参考になりました。  
(谷川 寛)

ここリーがグランドホテルでの最後の例会に出席、ホテルの入り口でその歴史をたどる写真展を見て高校時代にこのビルディング内にあったフェスティバルホールでの音楽会に通ったこと等、思い出しました。新装なって新しい時代にふさわしい再現が楽しみです。  
(谷川 有美子)

ヒラナカさんご夫妻をお迎えするのを楽しみにしています。ハワイに行く度にお世話になっています。  
(中村 幸枝)

リーがグランドホテルの最後の例会、本日は記念すべき例会でした。石津さんの近未来のIT社会こんな世の中進んでいるのですね。  
(中村 茂高)

私は車もたず、携帯電話もたず、デジカメもたず、時計さえもたず、情報化の波に抵抗してどこまで社会生活が営めるか生体実験中です。今のところ特に異常なしです。  
(畠中 彬)

ワイズソングと日々の糧のテープによる音の不快さは誠に申し訳ありません。出来るだけ改良したいと思いますので悪しからず御勘弁願います。  
(福永 嘉彦)

リーがグランドホテルでの最後の例会でおなごりおしいです。広い部屋でゆっくり出来たのが良かったです。又、新しいグランピアホテルも楽しみです。  
(松浦 和子)

石津さんのIT社会の将来のお話有難うございました。チベット情勢に心を痛めています。最近「ダライラマ自伝」(文春文庫)を読みましたが、中国のチベット侵略の歴史が生々しく語られています。  
(松浦 孝次)

由緒あるグランドホテルでの最後の例会に出席できて感慨もひとしおです。大阪のダイナミックな発展に期待しています。  
(三浦 直之)

グランドホテル最後の例会、水入らずのしっとりとした雰囲気を楽しむことができました。来月からは新しい会場ですネ。気持ちを切り換えて新しいセンテニアルとして全身できるのを期待しましょう。  
(山田 孝彦)

遅刻してごめんなさい。コンピュータとか電話とか私のような古い頭にはなかなかついていけなくて困っています。  
(山村 利子)



マウイ島からランカイ島を望む

晴れた空、そよぐ風、心優しい人々 - パラダイス・ハワイ!

Blue sky, comfortable breeze and kind  
hearted people  
-Hawaiian paradise!

BY M.FUJIWARA

後記

この3月31日付、朝日新聞夕刊に、「リーがグランド 最後の宿泊客見送る」という記事が掲載されました。前身となる大阪グランドホテルがオープンしたのが1958年。フェスティバルホールの開設に合わせ開業。同ホールで演奏会を開いた指揮者カラヤンやバーンスタインなど多くの音楽家や文化人が宿泊しました。小説家の森村誠一は、開業時、1年間ホテルマンを勤めた経験があったそうです。

当時、東洋一と言われ大阪の一時代を彩った、古きよきホテルの閉館は、例会の場として長く利用してきた私たちにとって一つの時代の節目のように感じます。

例会の場をグランヴィアホテル大阪に移し、また新たな大阪センテニアルの一時代をつくっていくことになるのでしょうか。

中村茂高